

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	02	0401	スポーツ施設環境整備事業費
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-4	スポーツの振興		
	施策	3	大規模スポーツ大会の開催		
目的	スポーツ環境の充実				
対象	市民、市外の施設利用者				
意図	快適な利用環境を整えるとともに、国体や大規模大会に備える。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
スポーツ施設改修・整備	<ul style="list-style-type: none"> 石鳥谷体育館・石鳥谷柔剣道場改修 B & G 海洋センタートイレ洋式化、モーターボート船外機修繕 花巻球場音響設備修繕 太田野球場改修（フェンス、バックネット、ダックアウト） 武徳殿消防設備修繕 日居城野テニスコート備品（給水ローラー、テニス得点板） 				
国体推進課整備	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館前舗装及び競技役員出入口確保 石鳥谷アイスアリーナ冷却管改修、アイスホッケーゴール購入 クレー射撃場通路舗装、屋根修繕、トラップハウス修繕、フェンス整備 国体競技会場駐車場出入口測量調査及び整備 				
市民参画の有無	[対象外]				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 施設整備件数	件	計画	3	4	3
		実績	3	3	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 施設利用者数	人	目標	730,000	740,000	750,000
		実績	760,911	727,318	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成25年度に行ったスポーツキャンプむら人工芝化整備等により、26年度の利用者が延1万人増加しており、今後も環境整備に伴い、増加が期待できるため750,000人に設定。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	多様化する市民のスポーツニーズに応え、市民が生涯にわたり、年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりが求められている。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	利用者アンケート等を活用し市民のニーズに合う施設整備を図ることで、市民がよりスポーツに触れる機会の増加が期待できる。 また、大迫体育館クライミング場の整備など地域の特色あるスポーツの振興を図り、市民がスポーツを行う機会の拡大に努めている。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	施設の利用状況に応じて、必要最小限の整備を行なっているが、大規模大会等を誘致できる施設整備するためには、最大限の整備も必要となる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民が生涯にわたり、年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めるため、市内スポーツ施設の整備や改修を行う必要がある。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
大規模大会合宿誘致関連施設（石鳥谷ふれあい運動公園、日居場野運動公園、B & G 海洋センター）や地域スポーツの拠点施設（笹間ゲートボール場や二枚橋体育館）を競技団体や地元利用者の声を元に整備を図った。 今後も、競技団体や各地区利用者の声を反映する形で整備を図る。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 阿部靖 内線 292

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	02	0401	スポーツ施設環境整備事業費

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		292,460	159,179		△ 133,281
財源 内訳	国・県	13,196	4,123		△ 9,073
	地方債				
	その他	208,049	37,949		△ 170,100
	一般財源	71,215	117,107		45,892

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
スポーツの振興を図ります。

事業開始の背景・経緯

全国規模の大会やプロスポーツなどのトップレベルのスポーツを身近に触れることで、スポーツ愛好者の増加や選手の競技力向上が期待されるため、スポーツ施設の効果的な利用環境を整え、計画的な施設の改修や整備を図るとともに、平成28年の岩手国体に向けた施設整備を行う必要がある。

事業概要

スポーツ施設改修・整備

- ・石鳥谷体育館・石鳥谷柔剣道場改修
- ・B&G海洋センタートイレ洋式化、モーターボート船外機修繕
- ・花巻球場音響設備修繕
- ・太田野球場改修（フェンス、バックネット、ダックアウト）
- ・武徳殿消防設備修繕
- ・日居城野テニスコート備品（給水ローラー、テニス得点板）

国体推進課整備

- ・総合体育館前舗装及び競技役員出入口確保
- ・石鳥谷アイスアリーナ冷却管改修、アイスホッケーゴール購入
- ・クレール射撃場通路舗装、屋根修繕、トラップハウス修繕、フェンス整備
- ・国体競技会場駐車場出入口測量調査及び整備

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

岩手国体開催会場の整備を図る。
また、老朽化の著しい施設の改修を行うとともにレベルの高い大会を積極的に誘致するため、スポーツ環境の整備を図る。更に、機械設備の修繕を行い、安全に利用できる環境を整備する。
利用者からも改修の要望が寄せられている。
・国体開催会場（石鳥谷アイスアリーナ、花巻市クレール射撃場、総合体育館、B&G海洋センター）
・市政懇談会（太田野球場、B&G海洋センタートイレ、石鳥谷体育館・柔剣道場）
・テニス協会

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

修繕料

①太田野球場外野フェンス等修繕	2,072	
②武徳殿消防設備修繕	2,400	
③モーターボート船外機交換（2台）等	1,901	
④総合体育館第2アリーナ軒天修繕等	12,730	
⑤クレール射撃場修繕（通路舗装、掲揚塔、各所塗装等）	17,155	
⑥クレール射撃場射台骨組・屋根修繕	13,392	
⑦石鳥谷アイスアリーナ修繕	2,150	
⑧石鳥谷ふれあい運動公園修繕	1,960	
⑨その他修繕	221	
計	53,981	

委託料

①石鳥谷体育館、柔剣道場改修工事 設計監理	1,480	
②スポーツキャンプむら駐車場出入口計画業務	486	
設計	小計	1,966

①花巻球場音響設備改修	3,564	
②B&G海洋センター洋式トイレ整備	1,139	
③国体会場整備業務委託	5,006	
④総合体育館南西側出入口改修	2,214	
⑤総合体育館おもてなし広場舗装	486	
整備	小計	12,409
合計		14,375

工事費

①石鳥谷体育館、柔剣道場改修	30,468	
②石鳥谷アイスアリーナフロアリンク冷却管改	56,888	
③クレール射撃場フェンス等整備	1,479	
計	88,835	

備品

①給水ローラー（日居場野人工芝テニスコート）	2台	475	施設管理者から要望有
②テニス得点版	8台	359	競技協会から要望有
③総合体育館玄関マット		90	施設管理者から要望有
④アイスホッケーゴール	1式	823	競技協会から要望有
⑤バレーボール支柱及びネット	1式	241	競技協会から要望有
計		1,988	